## いします <br> ○社協だより

緆集と発行 石巻市社会福祉協議会平成20年3月31日

## 第12号

〒986－0822
石巻市中央二丁目 4 番 20 号
TEL 0225 （96） 5290 （代 FAX 0225 （96） 5223




大川小学校
「畑のおじいさんに感謝の会｣


地域の方の協力を得て学校の畑で野菜を育て収構する活動を毎年積み重ねています。異学年協熪作業で収穫の喜びも共有 でぎました。

大川小学校•大川中学校 ［小中連携植樹式．］


小学1年生と中学3年生のペア で行った植樹活動。このあと「お礼の手紙」交換など交流も ありました。


全校生徒 86 名と教職員 10 名 で作業を行いました。毎年，集め たゴミの量の多さに，生徒からは「なんでこんなところにゴミを捨 てるのだろう」という多くの感想 がありました。

## 教育の現場から

## 「学校と地域の連携」活動ピックアップ

## ■ 平成19年度 石巻市福祉教育推進研修会

日 時：平成20年2月15日（金）
会 場：河北総合センタービッグバン
参加者：市内の小•中学校，高等学校の先生方と
PTA関係者47名
内 容： 1 活動報告（大川小学校，大川中学校）
2講話 テーマ「学校と地域の連携について」
講師 遊老学校宮城ろうすくーる 校長 谷徳行氏

各学校で様々な福祉に関する取り組みが行わ れていますが，今回は地域とかかわる活動を取り上げました。

宮城県社会福祉協議会から「福祉教育・ボラ ンティア学習推進協力校」として活動している大川小学校，大川中学校の活動と，渡波中学校，石巻小学校，石巻中学校の活動を紹介します。

## 渡波中学校

『クリーンビーチ大作戦」


他機関•団体と共に平成12年 から継続し，活動している長浜海水浴場シーズン直前の清扫活動。今年度は，7月3日（从）に行 い，生徒と保護者，渡波小学校児童も含め約1．000名の参加が ありました。


石巻小学校
「敬老週間給食試食会」


地域の高倹者を対象に，授業参観と給食試食会を行うととも に，「地域に根づき，地域に息づ く学校づくり」の具現化の一環 として毎年実施しています。

石巻中学校
「「川開き」翌朝清掃活動】


石巻の一大イベント「川開き祭 り」翌朝の清掃活動。お祭りのあ とに残されたゴミを集め，いつも のきれいな街に。JRC委員会を中心に生徒•保謢者が参加しま した。予想以上のゴミの量に驚 き，地域の環境美化について考 えざせられました。
（3）石巻社協だより

．
河北支所
な62－1077

 or |  |
| ---: | :--- |




雄勝支所 281－3011














 す。


が


が し

## 河南支所 272－3725







 ま
な゙
往
復
な
介
助
者
し



桃生支所 276－1020


# うの城 動の日学い ま 活由知障の 

な介こ県こに主，校る福すに者ら害不介 ド緊て手落も助と内罗のつ催 Jに石杫。おのせせ物自助 ア急くのちの犬でのよいで A お巻協け手るやや犬 の時る届たがのす学うて実並い市力 る足よ曲なと開の速かもああ仕 校な披際びて立校 動とうが方は閉連なのげ事 で取露のに，中に はりざ介J去津指の引，角目盲初組れ助Aる山定 補 ，肢のと導 めみま 犬共2第さ 助旦体存な犬 てはし宮た活連19小れて を常不在っが
しいがはし的をいつい1 介国ト介りれ
た福生現ま，に同う身ま5助でリ助まる


業て し 介し会し助年るす躍すド披なに聁引補 な興 り味るのしが助しにれはな在・れかて ま深 の数か法犬とはて約が全したあく

## きたかみししょ



すんご歌さはに



『 ざあー緒に唄いましょう。


お待参でてを度し
专じ加く多し予もた行
9
ておご






－がんばりすぎない介護を／



## 「読みきかせボランティア養成講座」受講者募集！

小さい頃，本や紙芝居を読んでもらってワクワクした経験ありませんか？子どもは，本を読 んでもらうことが大好き，
＂本の選び方＂や＂読み方のポインドなど，読みきかせの「コツ」を学んで，家庭や地域で，読みきかせをはじめてみましょう。

これからボランテイア活動をはじめたい方はもちろん，子どもにもっと楽しく本を読んであ げたい子育て中のママも，お気軽にお申込ください。

| 開催日 | 時 間 | 脜座内容 |
| :---: | :---: | :---: |
| 第1回 5月1日（木） | 9：30～12：00 | •読みきかせが与える影響力 －本の選び方 |
| 第2回 5月9日（金） | 9：30～12：00 | •子どもを著きつける 読み方のコッ •読みきかせ実演 |
| ．第3回 5月中旬 | 9：30～12：00 | ）移動講座市内の読みきかせ活動を見学 |

会 場 牡鹿保健福祉センター「清優館」

## 参加费 無料

その他 5月1日•5月9日には，
託児コーナーも用意します ※事前に予約が必要です

## ■お申込・お問い合わせ

牡鹿支所・ボランティアセンター牡鹿
所在地 牡鹿保健福祉センター「清優館」内
電 話 45－2684


（7）石巻社協だより


## 平成20年度ボランティア保険

更新手続きはお済みですか？安心して活動するために保険加入を推進しています ＊保険加人は社伤ボランテイアセンターへの登䤵が必要です

| ボランデイ活動保険 |  | 申远日の桎日 | らその年度末（3月31日）まで |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 補倁内容 | 你害 | ホテランテイア自身のケガ |
|  |  | 䀩㮦教任 | 他人に矢カをるせせてまった，人の物を㮦して しまった場合の摃害賠顗 |
|  |  | 慟行品挨害 |  |
|  |  |  |  |
|  | 保険枓 | 300円 $~ 800$ 叫（5䊩疑のブランガあうます） |  |
| 行推保 | 内容 | 你害 | 行事參加者のケガ |
|  |  | 賠績責任 | 主䍜者の測害䝮敬 |
|  |  |  |  |
|  | 保険枓 | 宿泊なし | 30 円～行車内容により罢なります ＊最低20名分からの加入 |
|  |  | 崔泊あう | 194円～摍泊数しより買なります |
|  | 乣达み |  |  |

## 

口石浩支所
ボランティアセンター石巻 2996－5290
回河北支所
ボランティアセンター河北 2862－1077
㮱譄支所
ボランティアセンター雄勝
261－3011
河南支所
ボランティアセンター河南 272－3725
四桃生支所
ボランティアセンター桃生 276－1020
四北上支所
ボランティアセンター北上 267－2031
牡鹿支所
ボランティアセンター牡鹿 245－2684

## 



－「新舞銿サロン」
なつかしい著物をもう一度使うチャンス！

－「りふれてしゃサロン」
平街感党をとりもどす3分体㩧＂

| サロンの名称 | 内 容 | 開催日 | 時間 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 読み間かせ | 読み間かせボランティアさんを啚皈に，蚛強会 を行います。 | 4月から8月まで の毎月第4父曜日 | $\begin{array}{\|c} 13: 00 \sim \\ 15: 30 \end{array}$ |
| 生け花 | 羍筋の花を案しみます。 <br>  | 每月第2金曜日 | 10:00~ |
| 新舞踊 | 歌骂曲にあわせt踊りの備座です。 | 铖ね隔遠木曜日 |  |
| りふれつしゅ | 堂化防止に，「体探」「折り紙」「ぬり检」「バズ ル」などいるんなことやってます。 | 4月から12月まで <br>  |  |
| 足もみ | フットケア体驗。マッサージや手入れ法を教え てもらえます。 | 4月から每月第3月濯日 |  |
| ちびっこ | 乳幼児とそのお母さんに，社福切ビル1階ホー ルを開放します。遊びにきてください。 ちびつこと遙びたい人もどうぞ。 | 5月から <br> 每月第3水曜日 |  |

参加費 無料 会 場 社福協ビル
問合せ・申込先 石巻支所（中央二丁目4－20社福協ビル内 TEL 96－5290）


平
墂
警
䬦
様
畀
帒








佐
城
佁
治
㒕
町
 い
の
ま
き
農
葉
協
同
組











上ー





## 平成20年度

## 維おむつ等䳡入助成事業

石巻市社会福祉協議会では，石巻市全域を対象に在宅で常時紙おむつを使用している方へ紙おむつ等購入費の一部 を助成することになりました。

## －対象者

市民税合計額が30万円以下の世带の方で次のいまれかに該当する方

1．介護認定で要介萋 4 以上の方
2．1級又は2級身体障害者手帪，療育手帳A所持者（児）
－申請に必要な添付書類 $\quad$－
申請書に必要事項を記入し，介護保険証•身体障害者手帳•㓋育手帪の写しを添付し提出してください。

## ※申請方法は石巻市社会福祉協議会各支所に お問合せください。

## 登録ヘルパー募集中

資格及び 訪問介護員（ヘルバー）2級以上の資格及び，普通自動条件 車免許をお持ちの方
業務内容 身体介護や生活援助などの訪問介護
勤務場所 石巻市内
募集人員 若干名
勤務条件 迴2～3日程度（土•日•祝日含む）他詳細は面談の上

## 問合先

ホームヘルバーセンター

## 平成19年露 <br> 

2月22日（金）石巻文化センターにおいて「小地域ネッ トワークの必要性」についての研修会を開䍜しました。講師からは「地域住民同士がお互いに支えあいの思い を持ち，それが小さな活動で継続することを第一に考 えること」などお互いの気持ちを思い，行動することを学 びました。


諾師の福島学院大学日下颣美氏
地域を支える皆さんで
－会場はほぼ做席

※福祉協力員は，社協事業への協力や地域福祉活動の推進を行う方々です。

